

令和2年度第6回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和2年7月17日(金)午後1時28分～午後2時50分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 合宿の里統括監 三 上 正 洋
職務代理者 五十嵐 紀 子 学校教育課長 須 藤 友 章
委員 馬 場 千 晶 社会教育課長 武 山 鉄 也
委員 山 田 敦 久 学校教育課管理監 大 留 義 幸
学校教育課副長 友 田 正 樹

(欠席 加 藤 洋 之 委員)

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長あいさつ

6月15日に開催した前回の教育委員会会議では、新型コロナウイルス感染症への対応が必須な中で、当面の学校のあり方について説明した。その翌日から市議会一般質問が始まったが、一部の議員から行政の答弁や対応に不満の声もあった。7月9日には第3回臨時市議会が開催され、第4弾となる新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金に関する補正予算について議決を得た。今回の交付金は過去の最高額となったリーマンショックに関わる経済対策を超える金額が内定している。文部科学省は新たに学校再開に向けた補助事業を創設したが、補助率は2分の1であるため、残りは交付金を充てる予定。しかし、補助金の内容や考え方も確定しておらず、国や道教委の考え方も調整がとれていない状況である。臨時会で決定した事業は交付金の一部であり、残額は9月の第3回定例会に回すことになった。本来、夏に必要な教室の網戸などを早急に整備する考えであったが、家庭用のものとは違うため、臨時会後に発注したとしても納品が間に合わない見込みであるため、整備方法などについて検討しているところである。各学校から補助金を活用して簡易型エアコンや扇風機など必要な物品を購入したいとの要望があがっている。全国一斉に発注されると急いでも納品されない恐れがあるが、できるものから順次進めていきたい。また、教員の加配について国から示されているが、本市では対象にならない見通しである。学習指導員については全ての学校に、スクールサポートスタッフは1校あたり6学級以上の場合に配置される基準となっている。しかし、教育長会議の際には、担ってくれる人材がいるのかという問題が話題になっていた。学習指導員は教員免許の要件がないため、例えばPTAによるボランティアなどを対象にできるとの考えも示されている。

スポーツ合宿では、6月23日からダイハツ陸上部が来士し、今年度の合宿がスタートした。本年はハーフマラソンが中止になったため、受入数も落ちている。ディスタンスチャレンジ大会は、無観客で粛々と開催した。日本新記録が出そうな種目があったが、あとわずかなところで届かなかった。しかし第2戦の深川大会では見事記録を達成した。士別大会は無事に終了したが、関係者からは2週間後に感染者が出ていない事が確認されなければ本当の意味で成功とは言えないとの話があった。本市とつながりの深い帖佐先生が来市されている。

社会教育の関係では、本年度初めてとなる社会教育委員の会議を開催した。子ども会活動ができない中、チャレンジスクールやチャレンジ寺子屋も中止しているが、チャレンジ寺子屋については、冬休みには開催する方向で検討している。中央公民館運営審議会委員の尾崎氏がお亡くなりになった。ご冥福

をお祈りする。今年度中は後任を充てず、一名減のままとする
本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第13号 土別市学校施設長寿命化計画の策定について説明を求める。

○大留管理監

本計画については、令和2年度中に策定するよう文科省から通知が届いている。計画は、市が策定している公共施設マネジメント計画等との整合性を確認したうえで、各学校施設の状況を把握し、整備方針を検討していくとの内容である。今後、対策が必要となる朝日中学校の整備方針案について、参考資料として作成し、保護者や地元との協議を行っていく考えである。

○須藤課長

長寿命化計画は、これまでのように必要に迫られてから改修などを行うのではなく、この先の管理方針を検討し、計画的に施設を活用していくものである。

○中峰教育長

この計画は全ての自治体で策定が義務付けられているもので、今後は計画を策定していないと文科省の補助事業を受けることができなくなると言われている。市の中長期的な財政計画とも整合を図らなければならない。多寄中のように、生徒数の減少に伴い事務や教科担当を含めた教職員が配置できなくなることが想定されることについても検討要件である。

○山田委員

将来的な地域の発展などを考えて、縮小や統合ではなく「こういう学校にするため」といった方向性を提示すべきではないか。

○中峰教育長

今年度の適正配置計画において、高校の場合は、例えば地域に特化するなど、学校のビジョンを示すことが求められている。義務教育については、子どもたちの経験値を上げることなどが示されているが、教科担当が置けない状況になった場合、学校はどうあるべきかを考えなければならない。学校適正配置計画を踏まえ整理してきたが、朝日中をどうしていくか、地域としてどうビジョンを描くかという視点になる。

○山田委員

学校というとハコモノのイメージが強いが、人材などによって教育の質が保たれると安心できるのではないか。

○中峰教育長

本市では教育計画を策定していない。長寿命化は学校施設に特化した計画である。

○馬場委員

各校の劣化状況写真を見てとても驚いた、どれくらい経費がかかるかわからない。

○中峰教育長

先週、営繕調査を行ったが、一番新しい上土別小・中の校舎であっても修繕が必要なものがある。温根別小の校舎は、軒下の穴に蜂が入り込んでいる恐れがあり、早急に穴をふさぐ必要があった。多寄中の閉校に伴い必要となったシャッターの設置や、警備設備の改修も無事に完了していた。朝日中の体育館は老朽化が激しいため、今後は糸魚小の体育館を共有していくべきと考えている。多寄や上土別でも実績があり、可能だと考えているが、冬場の移動方法に課題がある。市全体として公共施設の削減を検

討しているところであり、ご理解いただきたい。また、朝日では保育園のあり方も課題になっており、学校施設と一体的に考えられないかとの話もあるが、小学校との連動を考えると、現在の場所でどう考えていけるかを中学校に示し、その後小学校の PTA を含めた地域の意見を伺う考えである。

○五十嵐職務代理者

朝日は小学校から学童保育所までの間が遠く、寄り道の誘惑が多い、もっと近くに適当な場所がなかったのか。学童保育所が家と逆の方角になる子どもがいると思う。

○中峰教育長

多寄小の放課後子ども教室は学校施設を使用している。

長寿命化計画は訂正し整理したものを改めてお渡しする。

※ 議案第 13 号了承

2 その他について

令和 2 年度第 3 回臨時会について

○須藤課長

7 月 9 日に開催された臨時会では、地方創生臨時交付金に関する補正予算について審議された。これまでに決定した交付金の内容は別紙のとおり。(別紙資料に基づき説明)

○中峰教育長

議会の開催日は、第 1 回臨時会が 4 月 28 日、第 2 回臨時会が 5 月 22 日、第 2 回定例会が 6 月 5 日から 24 日まで、第 3 回臨時会が 7 月 9 日で、9 月の第 3 回定例会で交付金の内容が全て決定する。今回決定した学校再開支援事業については、各学校から様々な要望があがっているが、プール授業などに使用しているバスを増車する予算も含めて執行する考えである。修学旅行の経費については、国の Go To キャンペーン対象となるのか不明である。また、道の経済部局は、観光バスや旅館を救済する目的で、教育旅行支援事業を行うが、バス 1 台につき 14 万円や、宿泊 1 人 3 千円を上限としているほか、JR から観光バスへの変更は事業の対象外とされている。GIGA スクールに関連した補助金で各校に 1 台の Web カメラを整備するが、別の補助金があるとの理由からカメラの追加購入は学校再開支援事業の対象にならないなど制約がある。

○五十嵐職務代理者

小学校の修学旅行は札幌・小樽方面が多いが、行先に変更はあるか。

○中峰教育長

道教委としても集中するのは避けたいと考えているようだ。ウポポイもオープンしたところ。各校で検討している。

○須藤課長

結果的に、一部の学校を除いて、札幌・小樽が中心となっている。

○山田委員

北海道でも再流行する恐れがあり、今までより感染力が上がるのではと思っている。冬場の暖房は安全なのか。

○中峰教育長

札幌市の伏見小でも感染者が出たとのニュースだが、感染が広がっているのは確かであり、夜の街などでクラスターが発生しているため、かからないよう注意が必要。教育委員会としては学校再開事業を活用してストーブを整備することも想定しているが、学校からの要望には含まれていない。除湿器や洗濯機、乾燥機など来シーズン使用するものがあつた。昨シーズンはインフルエンザのり患が極端に少な

かった。

○山田委員

今年は流行が広がるのではないかとの報道があった。学校現場に混乱が生じなければよいが。

○馬場委員

コロナウイルスの抗体も1月で消失してしまうとのデータがあるようだ。基礎疾患のある人は不安を抱えていると聞く。

○山田委員

重症化すると恐ろしい。これまで発生していない地区からも出る恐れがある。

○馬場委員

GoTo キャンペーンが中止になってしまったら、観光客に来てもらえないので残念だが、一方で感染拡大が抑えられるのではと、ほっとする気持ちもある。

○山田委員

これから夏休みを迎えて、どのように行動するのか。計画している修学旅行にも影響する可能性があるのでは。

○中峰教育長

北海道に第3波が来るような事態になれば中止することもありうる

○馬場委員

これまでも修学旅行中に体調が悪くなり、保護者が迎えに来た例がある。

○中峰教育長

昨年もインフルエンザで同様の対応があったと聞いている。

第3回定例会に向けては、学校衛生環境改善事業として女子トイレを中心に洋式化する予定である。

当面する今後の日程について

(須藤課長説明。)

○中峰教育長

延期となっていた運動会等について、現段階の予定をお知らせした。多寄小では参観を保護者に限定する考えのよう。そのため、例年のように委員の割り振りを行わず、学校から案内があった場合は改めてお知らせしたい。

○五十嵐職務代理者

今年の文化祭はどのように開催する考えか。展示する作品の制作準備など都合があるのではないか。

○中峰教育長

芸能発表、展示作品の準備にも時間が必要になる。生涯学習フェスティバルの中止はいつ頃決定したか。

○武山課長

5月の連休頃には決定した。

○中峰教育長

なるべく早くに判断する。文化センターのホールは利用制限があり、定員の半分以上しか使用できない。大ホールは良いが、小ホールは座席の配置がずれているため3席に1つほどしか使用できない。小中学校の音楽発表会も中止の方向性と聞いている。

○山田委員

9月に予定しているジャンプ大会はどうなったのか。

○三上統括監

全日本スキー連盟の理事会で決定する予定と聞いていたが、結局、決まらなかったようだ。

○中峰教育長

今月下旬に決定しそうである。予定では19日から20日にかけてコンパインドとジャンプ大会を開催し、ジュニアとレディースの大会は中止。名寄で開催する大会につなげていく日程と朝日スキー連盟から情報があつた。

○武山課長

7月22日まで士別市文化賞を募集している。候補者の推薦があつた場合は教育委員会会議で審議いただくことになるのでご承知おきいただきたい。

○中峰教育長

合宿の状況について説明を。

○三上統括監

現在5チームが滞在中。来週22日には実業団の連合合宿が始まる。8月には関西の実業団も例年とは形態を変えて来土する予定。

○中峰教育長

連合合宿については、他のチームとの接触どうかということもあるが、自費参加のような状況である。

○山田委員

PCR検査を行ってから来るのか。

○中峰教育長

検査については、いつ、どこで実施したかによって意味が変わってくる。合宿2週間前からの健康チェックを行うなど、本市の基準とすり合わせながら実施している。

また、教育実習の実施について懸念を抱いている保護者もいる。へき地教育実習を行う道教育大からの通知では、できる限りの対策を講じて実施するとのことであつた。心配になる気持ちもわかるが、可能な限り協力していきたい。

午後2時50分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章